

1995年 8月29日

送  
り  
先

MB (北陸) システム営業課 御中	丸善 (北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC (北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支 (富山) コ課			

# 陸支 コ 課 情 報

No. 40

## 内容

- ・最新リムーバブルメディア 第4回
- ・情報誌トピックス —情報誌は発行責任者保管
- 日経コンピュータ 8月21日号
- 日経パソコン 8月28日号
- 日経エレクトロニクス 8月21日号
- DOS/V magazine 9月1日号
- 月刊PC 9月号
- ASCII 9月号
- SUPER ASCII 9月号

ソフトウェアはSRCへ！  
キャンペーンも随時実施中  
詳しくはSRCニュースを

## 発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社  
電子・情報通信部 コンピュータ課  
稲崎義明

## 4. MDデータ

MOと同様の光磁気ディスクのメディアとしてMDデータがあります。MDデータはソニーが開発したデジタルオーディオ用のミニディスク（MD）規格を拡張し、コンピュータ用のデータ記憶媒体として用いるための規格です。データ読み書きの原理はMOと同じですが、書込みを行う場合は、MOの光強度変調方式ではなく、磁界変調方式をとっています。磁界変調方式は、レーザ光線の強度を一定にして外部磁界の方向を変化させることによって書込みを行います。光変調方式の場合、一旦消去して書き込むためにはディスクが一周してくるのを待つ必要がありますが、磁界変調では待たずに一回ですむ利点があります。しかし、磁界の方向を変えるのはレーザの強度を変化させることよりも時間がかかるためデータ転送速度や平均アクセス時間などの性能はMOほど高くなく、論理フォーマットを含めてCD-ROMに近い仕様となっています。MOがある程度ハードディスクに近い高性能を目指しているに対して、MDデータはそこそこの性能で製造コストを下げることを指向しています。

MDデータは2.5インチの光磁気ディスクを用い、ディスク1枚の容量は140Mバイト、トラックピッチは単密度MOと同じ1.6 $\mu$ mですが、データの記録はMOと異なり、CD-ROMと同様のCLV（Constant Linear Velocity：線速度一定）で行います。回転速度は420～990回転/分、データ転送速度は150k/秒でMOよりずっと遅く、標準速のCD-ROM程度しかありません。そのため、OSの起動や作業記憶装置のようなハードディスクの得意とする用途には向かず、どちらかといえば大容量フロッピーディスクまたは書き換え可能なCD-ROMのイメージに近いものになります。

ソニーはMDデータについて当面低価格化と装置の普及に中力しています。MDデータは音楽用MDプレーヤの技術を流用する部分が多く、音楽用MDプレーヤの1.2倍程度の価格でMDデータドライブが作れるなど、今後の普及状況によっては低価格化による普及が十分に考えられる製品です。また、同じドライブで音楽用のMDの再生も可能であり、MacとDOS/Vマシンでフォーマットが共通であることなど利点も多いのですか、今後を考える上での不安材料としては規格をソニー1社が握っているためにMDデータの規格が標準規格ではないことが上げられています。ソニーから発売となっているMDデータドライブは、音楽用のプレーヤと同様の外観で、メディアだけでなくドライブ自体もリムーバブルな、携帯端末用の外部記憶装置としては十分利用できるものですが、内蔵タイプの製品が無いため今後の普及については疑問視されてきています。

（次回へ続く）

## (情報誌トピックス)

### ○経緯コンピュータ 8月21日号

特集 正しい「脱メインフレーム」

→基幹業務をメインフレームで集中処理を行っている場合に、どのようにC/Sシステムへ移行すべきか。第一歩は資産の全面的見直し。最適なシステムデザイン。プラットフォームの選択はその次となる。

NCトレンド 日本市場に切り込む米PCメーカー

価格よりも信頼性で勝負

→コンパック、デルに続いてゲートウェイなども日本進出を計画している  
安いAT互換機のイメージから十分なサポートを中心とした信頼性を重視しているが、サポート要因の確保などの課題がある

NCトレンド 活発に進む地方自治体の情報化

戸籍や保健・医療に新システム

→汎用機やオフコンからC/S型への移行が始まり、ベンダーによるパッケージの投入が相次いでいる

ニューズレター Windows 95用3270エミュレータ三菱電機が96年3月に出荷

→5250エミュレータも開発

### ○経緯本誌 8月28日号

特集 ビジネスマンのための超初級LAN講座

目的別に分かる導入のメリット

→オフィスにパソコンが増えて出てきた色々な問題を解決するLANは、武器として使うためには難しいことは人に任せてバリバリ使えばいい

プロローグ そもそもLANとは何なのか

第1部 LANで何が出来る、何が変わる

オフィスの問題解決に良く効く薬

→共有ディスク、共有プリンタ、電子メールスケジューラなどの使い方

第2部 LANに要るヒト、モノ、カネ

・誰に頼む？

・何が要る？

・いくら掛かる？

・LAN関連製品ガイド

・グループウェア製品ガイド

特集 ソフトハウス売上高ランキング

マイクロソフトが68%増で独走

ジャストやノベルも大きな伸び

→1994年度の国内パソコンソフトの売上げは3000億円、成長率25%となり再び成長期に入った

REPORT ワープロの校正支援機能は本当に使い物になる？

プロダクトウォッチ 通信マルチメディアPCカード

28.8kbpsクラスのモデムが続々登場  
マルチファンクション型も増加

○~~日経エレクトロニクス~~ 8月21日号

特集 アナーデジ混在回路設計自動化の扉開く

→デジタル回路設計用言語HDLがアナログ回路まで拡大

1部 <技術動向>

デジタル設計に続きアナーデジ混在設計も標準HDLへ

2部 <標準化動向>

1995年中にVHDLとVerilogがそれぞれ仕様案を確定

3部 <製品サーベイ>

アナログHDLシュミレータ、CadenceとMentorをAnalogが追撃

特集 台湾のパソコン産業

→パソコンの生産で世界一となった台湾が、キーパーツの域内開発に力を注ぎ、16MビットのDRAMの生産を立ち上げ、液晶ディスプレイを立ち上げようとしている

1部 <台湾の動向>

パソコン向けにDRAMや液晶の開発へ

2部 <周辺国・地域との関係>

中国へメインボードの生産移転が加速

技術 デジタルVTRいよいよ発売へ

→デジタル記憶方式採用のカメラ一体型のVTRが発売。ソニーはパソコン用のインターフェースを備えているが、他社は静観

技術 ノートパソコンの技術トレンド

→電池動作の携帯型コンピュータの鍵を握るパラメータ（大きさ、重さ、機能、性能、電池寿命）の動向と開発状況について。ノートパソコンの現状とその技術について解説

技術 日米欧の無線通新方式を比較

→自動車・携帯電話、デジタルコードレス電話、無線LAN、CDPD (CellularDigitalPacketData) 等の標準方式について解説

○~~DOS/V~~magazine 9月1日号

特集 最新最強ハードの研究'95

～Over120MHzの攻防～

→以前は手の届かなかったハイエンドマシンが手の届く価格設定となっている。今時のハイエンドマシンはどのようなものか検証

第1部

Round1 旗艦9機種の様を比較する

Round2 対決!DOS/Windows環境での実力を見る

購入からパワーオンまで～初期設定の検証  
Round3 マシンのパワーを生かす！32ビット環境  
対決！全機種のパワーリーグ戦

## 第2部

FinalRound 最強へのアプローチ～手持ちのマシンを鍛える

/Vmag. TechnicalTestLabs

ビデオキャプチャーカードをテストする

PowerMovie/V JPEG SET、miro VIDEO DC1

VideoBLASTER RT300（陸支所有）、VIDEO NT、夢画-PRO

付録 オリジナルCD-ROM

THE WAY THINGS WORK、テーマパーク日本語版など

## ○月刊PC 9月号

特集 BEST BUY総集編

BEST BUY製品のすべてを見せます

- ・パソコン本体
- ・周辺機器
- ・ソフトウェア

特集 SCSIとIDE

大容量記憶時代のインターフェース

→マルチメディアなどで大容量の記憶装置が必須となってきたが、その中で重要となるインターフェースについて解説

PART1 SCSI・IDEの最新事情

PART2 SCSIとIDEでHDDを接続

特集 驚異のパーソナルLANの世界

→2台から始められるパーソナルLANについて、その使い方とメリットについて解説

## ○ASCII 9月号

特集 8.24 Windows 95が起きる！

→Windows 95特集の第2弾は、マシン本体及び周辺ハードの整備方法、32bitネイティブアプリの開発動向、ゲーム開発環境などについての特集

特集 今、そこにあるフルカラー周辺機器

→デジタルカメラ、イメージスキャナなどフルカラーイメージを表現する周辺機器が身近になり、入力から出力までを特集

特別企画 テキストベースオーサリング最前線

後編 HTML&PDF

→最新のオーサリングとしてインターネットで生まれたHTMLと、DTPとインターネットの関係を深めるPDF

最新プロダクトレビュー こんなに安くなった！

低価格OCRソフトの驚くべき実力

→1万から2万円台の低価格OCRソフト3種について特集、それぞれに活字の認識率は98%以上

○SUPER ASCII 9月号

特集 最新PentiumPCのハードを知る

EDO DRAM、PB SRAM、PCIチップセットを徹底検証

→最新のPentiumPCが備えた機能について、最新の周辺チップ類の構成とその効果について特集

Review Pentium-75MHz搭載PC16機種

→エントリーモデルとなりつつあるPentium-75MHzPCの実力を検証